

I 戦略会議における議論の経緯

会議の経過（議題等）を一覧にする

フォーラム・復権会議の概略

II 懸案事項形成の背景と要因

①人口減少

→廃校

→生産年齢の減少→高齢化

②産業構造の変化

→農業の衰頹→里山問題

→商店街の衰頹・大型店の侵出

→漁業の構造変化（おっぺしから漁港構築へ）

③社会環境の変化・都市化

→海岸線の宅地化

→市民の意識変化→食農の変化・商店街の変化

→都市と農村の交流・地域内交流

→福祉・医療への対応変化

④自然環境の変化

→海岸浸食・里山←産業・社会構造の変化

⑤歴史的変化

→檀林

⑥従来の可決方法

→共同体による自律的解決→懸案事案の近代化

→行政による解決（広域・肥大化・補助金）

→行政依存

III 懸案事項解決へのシナリオ提示

1. 新しいまちづくりの仕組み（市民参加の方法）

①新しい行政の役割

②市民の自律性

③行政と市民のパートナー・シップ（市民協働）

④中間支援組織

2. 懸案事項の価値化

①コンパイラ（地域内・地域外）

②困りごと・諦めごとの価値化への変換過程

3. 懸案事項解決へのヒント

①JT跡地

②まぼしの資料・博物館

③その他の懸案事項への応用

IV 戦略会議の今後